

緑内障治療について考えよう!

～アドヒアランスと視野の視点で～

WEB開催
(6月中旬公開予定)



座長

富田 剛司 先生 東邦大学医療センター 大橋病院

昨今の緑内障診療は、医療機器および診断技術の発展に伴い、緑内障早期発見、早期治療を開始することができるようになり、緑内障治療においては、単成分・配合剤の種々の薬剤が登場し、手術においても多くの術式があることから、個々の患者さんに合った治療が選択できるようになってきました。

本セミナーでは、患者さんに慢性疾患である緑内障治療を継続して行っていくために重要な『アドヒアランス』と、緑内障早期発見、長期管理をするうえで重要な『視野』についてお話ししたいと思います。

緑内障治療においては、医師だけでなく医療従事者であるスタッフ皆さんと共に患者さんと向き合い、寄り添い、治療を続ける必要があります。ご来場いただける皆様において、実りあるセミナーとなれば幸いです。



演者

中野 匡 先生 東京慈恵会医科大学

緑内障治療において重要な『視野』について



第9回日本視野画像学会学術集会へのご参加には参加登録が必要です。2020年5月23日(土)まで、WEBからご登録ください。
早期割引は、2020年4月30日(木)までです。
参加登録者には、WEB聴講のためのIDとPWをWEB配信開始前までに、随時運営事務局からご案内します。